公表 事業所における自己評価結果

事業所名	かがきこども園		7	公表日	れいわ7年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	利用定員によってスペースが狭くなるなど別室を利用するなど工夫している。	ベッドと床で高さの異なるため、ベッド高が低い狭い、ストレッチャー、車椅子の移動がしにくい。入浴支援時間は全体的にスペースが狭くなり安全性が心配。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	5	2	利用時間の調整のご協力をお願いしている。また、迎え時間が遅らないようして伝達を確実にしている。	ぎりぎりな状況、不安を感じる。拜服室使用など車椅子の高さに対して配置が少ない。午前と午後の利用人数に差があり、午後が狭くなる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用児の組み合わせにより、ベッドの配置を変えたり別室利用したりしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	利用児やご家族が遊ぶような装飾をしている。	外でも使用しているバギーで入室。床で過ごす場合はマット対応だが狭い。入浴時間はストレッチャーが出入りすることで狭くなる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		人数に応じて別室での活動ができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5	2	運営会議や委員会、研修等実施している。	・目標明確でなく職員に周知されていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎年1回実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	運営会議を行っている。	意見を聞く機会があるが改善が継続されていない。職員の意見を伝える場も少ない。会議もするがなかなか話し合えないこともある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	今後実施する予定。	しているのかわからない。発生した課題は改善に取り組みしてほしい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		オンライン上の研修を配信期間内で受けている。専門性だけでなく、福祉職員としての研修も受けている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成、共有、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	6		モニタリング面談を行い、スタッフで検討し作成している。	
	13	放課後等サービス計画を作成する際には、発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		意見を出し合っている。	
	14	放課後等サービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	計画を共有し、日々の支援をはじめ、イベント的な支援も取り入れている。	なかなかできていない。送迎や入浴に抽替時間にとらわれている。
	15	こどもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	低年齢の児には簡易的なツールで評価をしている。	病院や学校で評価されたものを参考にしている。
適切な支援の提供	16	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービス」の提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の内容及び支援内容も盛り込まながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域をふまえた計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		全員で行っている。	限られた人員での対応の工夫が必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2		見直しが必要。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		他児との交流は内容に取り入れているが、集団活動がなかなか少ない。	集団活動の実施が少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	配置、役割、内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	口頭で伝達している。	日々の振り返りが難しい。気づいた点については口頭で伝達しあっている。時間が無い時でも先送りせず行うことが重要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、記録の検証・改善につなげているか。	7		情報共有に活かしている。	記録はとれているが検証はできていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	面談、検討会で見直ししている。	
	24	放課後等サービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	2	感染症の流行により地域の交流ができていないが、福祉会館の研修や作業所との合同イベントに参加している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	7		福祉会館の研修や作業所との合同イベントに参加している。	入浴支援がメインとなりつつあり、なかなか自己決定する場面が作れていない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7			集まる機会が減った。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		年度初め、及び日々確認、調整している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		見学、書面等で共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等サービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	6		見学、書面等で共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1		こども園単体として連携の強化を図ってほしい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	4		コロナ禍だったことにより、できていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から進め、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		必要に応じて面談し、利用児にも面談に同席してもらうこともある。	
	38	「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に評価等を実施することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3		インスタ活用もあるが、回数が減った。
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	福祉会内でやっている。	コロナ禍だったことにより、こども園単体ではできていない。
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		見直し必要なものもある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	7			
	49	食料アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		様々な種類の研修を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		玄関に掲示している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		朝礼や委員会等で伝達、検証し、会議や回覧でも周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。	7		委員会を中心に研修も実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載しているか。	6			